

# 専門課程Ⅱ 事例の提出方法

提出事例は、受講決定通知書に記載されている専門課程Ⅱ事例項目の内容に沿った事例を持参していただきます。(事例の処遇検討が目的ではありません)

## 1. 事例の概要

通常業務で自分が課題分析（アセスメント）し、その結果を踏まえて作成した介護サービス計画書などを提出してください。

- (1) 事例概要（様式1）
- (2) 基本情報（様式2）
- (3) 課題分析（アセスメント）概要（様式3、その他各自業務で使用しているアセスメントシート）
- (4) 課題整理総括表・評価表
- (5) 介護サービス計画書（各事業所で使用しているもの）

**居宅** 居宅サービス計画書 第1表 第2表 第3表 支援経過記録

**施設** 施設サービス計画書 第1表 第2表 第3表又は第4表 支援経過記録

**グループホーム・小規模多機能・特定施設**

認知症対応型共同生活介護・特定施設サービス計画等、指定の様式はなく、各事業所が使用しているもので可ですが、標準様式（施設）第1表～第4表、支援経過記録に相当するもの

**介護予防支援事業所**

介護予防サービス・支援計画書、介護予防サービス・支援評価表、介護予防支援経過記録

- (6) 計画作成時の主治医意見書、認定調査（特記事項）

※ (1)～(5)までを1セットにして、左上をホチキスで留めてください。(6)及び支援経過記録はアセスメントに至る経緯等の補足のために使用していただきます。支援経過記録に関しては提出プランの作成時の前後2か月分程度を用意してください。

※ 課題整理総括表の記入について、「課題整理総括表・評価表の手引き」（参考 厚生労働省 介護保険最新情報Vol. 379）を参照してください。

## 2. 個人情報保護

資料には、利用者の個人情報保護のため、氏名、住所は伏せて（仮名、黒塗り）、その他個人を特定する情報についても同様に配慮して下さい。

(例) 住所：A市、B市 氏名：C様、D様 医療機関：〇〇内科、△×医院  
職業や生活歴は特定できないよう配慮する。

## 3. 提出方法

- ①決定した事例を研修初日（青森会場 9/13、八戸会場 9/4、弘前会場 9/6）に上記(1)～(5)を1セットにしたものを1部提出していただきます。
- ②決定した事例の演習当日に1セットにしたものを8部忘れずにご持参ください。

## 4. 留意事項

- ・研修の目的上、提出した事例を用いての演習となります。提出できない場合は他の受講生にも迷惑をかけることとなりますので必ず持参して下さい。
- ・書式については特に指定はありません。
- ・事例提出について不明な点は、下記事務局までお問い合わせ下さい。

### ■問い合わせ先■

青森県介護支援専門員協会事務局 【業務時間：平日 AM9:00～PM5:00】  
〒030-0801 青森県青森市新町2丁目8-21 青森県医師会館6階  
TEL：017-721-3731 FAX：017-721-3732

## 専門課程Ⅱ 事例表

項目	カリキュラム名	選択する際の参考内容例
ア	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	筋力低下改善・日常運動の強化・リハビリテーション実施・住宅改修・福祉用具利用・外出支援・高齢者の外出先の開発・外出時の休息やトイレについて・機能強化ロボット使用等
イ	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	痛みの改善の取組・生活機能低下における対応・死の受容に関する事・緩和療法・葬儀に関する相談対応・遺品に関する相談対応・生きがいの実現・看護サービス利用について等
ウ	認知症に関する事例	初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障がい取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的、心理的な状況等
エ	入退院時等における医療との連携に関する事例	医療チームへの伝達・介護チームへの伝達・説明責任・難病の取組・医療の活用・入院における介護負担に関する事・入退所におけるコンプライアンスに関する事・高齢者に多い入院を伴う疾患、感染症等
オ	家族への支援の視点が必要な事例	家族に疾患がある場合の対応・利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応・家族が本人の生活機能に強く影響する場合の対応・家族間の関係性を対応した等
カ	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	地域支援・社会資源の特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度・虐待等
キ	状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	住み替えの対応・生活機能促進・利用者の主体的な選択に関する対応・説明と同意に関する事・施設サービスの対応・地域密着サービスの対応・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・複合型サービス・小規模多機能居宅介護等

※日程表をご確認のうえ、事例の持参日についてご注意ください。よろしくお願いいたします。

様式 1

## 事例概要

事例のタイトル

事例の概要（わかるように簡潔に）

## 基本情報

受付（平成 年 月 日） 受付者（ ） 受付方法（ ）

利用者名		性別		生年月日	年 月 日生
住 所				電話番号	
主 訴	(相談内容)				
	(本人・家族の要望)				
生活歴・ 生活状況	(生活歴)			(家族状況)	
	(経過・病歴等)			(主治医)	
日常生活 自立度	障害老人の日常生活自立度			認知症高齢者の日常生活自立度	
認定情報				認定日	
課題分析 (アセスメント) 理由					
障害等の認定・その他					
現在利用しているサービス					

様式3

課題分析（アセスメント）概要

健康状態		
ADL		
IADL		
認知		
コミュニケーション能力		
社会との関わり		
排尿・排便		
褥瘡・皮膚の問題		
口腔衛生		
食事摂取		
問題行動		
介護力		
居住環境		住宅見取り図
特別な存在		

課題整理総括表

利用者名 殿

作成日 / /

① 自立した日常生活の阻害要因 (心身の状態、環境等)		②	③	④	⑤	⑥
状況の事実 ※1		現在 ※2	要因 ※3	改善/維持の可能性 ※4	備考 (状況・支援内容等)	
移動	室内移動	自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
	屋外移動	自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
食事	食事内容	自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
	食事摂取	自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
	調理	自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
排泄	排尿・排便	自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
	排泄動作	自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
口腔	口腔衛生	自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
	口腔ケア	自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
服薬		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
入浴		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
更衣		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
掃除		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
洗濯		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
整理・物品の管理		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
金銭管理		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
買物		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
コミュニケーション能力		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
認知		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
社会との関わり		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
褥瘡・皮膚の問題		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
行動・心理症状(BPSD)		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
介護力(家族関係含む)		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		
居住環境		自立 見守り 一部介助 全介助	全介助	改善 維持 悪化		

利用者及び家族の生活に対する意向

見通し ※5

生活全般の解決すべき課題 (ニーズ) 【案】

※6

※1 本表式は総括表であり、ケースマネジメントでは、必ず別に詳細な課題改善・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。  
 ※2 介護支援専門員が収集した主観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。  
 ※3 現在の状況が「自立」である場合は「支援なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。  
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。  
 ※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を結ぶまえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることにより見込まれる事後の状況(目標)を記載する。  
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。

